

下水道の日

毎年9月10日は下水道の日です。

「下水道の日」は、著しく遅れていた我が国の下水道の普及を目的に「全国下水道促進デー」として1961年（昭和36年）に国土交通省（旧建設省）が制定しました。当時の下水道普及率は6%程度だったそうです。旧下水道法が制定された1900年（明治33年）から100年を迎えた2001年（平成13年）に名称が「下水道の日」に変更されました。

9月10日と定められたのは、下水道の役割の一つである「雨水排除」を念頭に、大きな台風が来る日とされる、立春から数えて220日目にあたることから、大雨に備える特別な日とされたことによるものです。ちなみに大型台風の上陸数は月別で8月が最も多く、上陸数が最も多い日（特異日）は9月17日と26日だそうです。

「下水道の日」があるなら、「上水道の日」は？

10月17日が「上水道の日」とされています。由来は1887年（明治20年）、横浜の市街地へ日本初の近代水道（ろ過した水を消毒した後、鉄管などを通して有圧で給水する水道）による給水が開始された日であることによるものです。

どちらかという、8月1日の「水の日」の方がご存知の方が多いかもしれません。「限りある資源を大切にしよう」と1977年（昭和52年）に設けられ、2014年（平成26年）の水循環基本法の施行に伴い、「水の日」として法律で定められました。8月は水の使用量が多い月だそうです。

そのほかには？

よく知られているのは、11月18日「土木の日」。土木の2文字を分解すると十一と十八になること、土木学会の前身である「工学会」の創立が1879年（明治12年）11月18日であることから。

某お菓子の日として有名な11月11日は「公共建築の日」だそうです。建築の基本的な構造を象徴している（1111が柱？）ことに由来しており、また国会議事堂の完成時期（昭和11年11月）などにもちなんでいるそうです。

ちなみに11月1日は「日本下水道事業団創立記念日」です。全国の下水道技術者をプールして地方公共団体の支援することを目的として、下水道事業センター法に基づき、昭和47年11月1日に国および地方公共団体の出資によって日本下水道事業団の前身である「下水道事業センター」が設立されたことによるものです。

（技術開発企画課）